

【NEWS RELEASE】

2021年10月26日
株式会社 KADOKAWA

台湾角川の新しい小説連載プラットフォーム 「KadoKado 角角者」がサービス開始



株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：夏野剛、以下 KADOKAWA）の海外連結子会社である台湾角川股份有限公司（台湾台北市、董事長：岩崎剛人、以下 台湾角川）は、10月26日より、中国語繁体字による小説連載プラットフォーム「KadoKado 角角者」を立ち上げ、運営を開始しましたのでお知らせいたします。

KadoKado 角角者 <https://www.kadokado.com.tw/>

「KadoKado 角角者」では、KADOKAWAが運営する小説投稿サイト「カクヨム」の最新ヒット作の連載をはじめ、『冴えない彼女の育てかた』シリーズ、『フルメタル・パニック！』シリーズ、『問題児たちが異世界から来るそうですよ？』、『これはゾンビですか？』、『俺の脳内選択肢が、学園ラブコメを全力で邪魔している』など、KADOKAWAから正規ライセンスを取得した人気ライトノベル作品も、順次掲載予定です。

また、台湾オリジナル作家と契約し、最新作品を連載、独占提供いたします。連載陣第一弾として情報解禁された作家は、『風動鳴』の著者・水泉氏、『鬼矓眼』シリーズの著者・尾巴Misa氏のほか、著名作家である碰碰俺爺氏、Div氏、兔子説氏、瀟湘神氏などを含む計15名で、作品は順次連載を開始していきます。

台湾角川は、2003年から日本のライトノベルの展開を開始し、中華圏に「ライトノベル」という新しいジャンルを確立、定着させてまいりました。2008年からはコンテストなどを通じて、中華圏でのオリジナルライトノベルの開発や、新世代の作家の発掘にも力を注いでおります。デジタル化の流れを受け、2016年には電子書籍プラットフォーム「BOOK☆WALKER TAIWAN」をオープンし、エンターテインメントジャンルのIPをより広く展開する可能性を模索してまいりました。

外出がままならないコロナ禍を経たポストパンデミック時代では、生活習慣の変化とともに、読書スタイルも多様化しております。小説連載プラットフォーム「KadoKado 角角者」は、極上のエンターテインメントを提供し、中華圏における新たな読書の楽しみを提供してまいります。



■株式会社KADOKAWAについて

出版、映像、ゲーム、Webサービス、教育、MD、コトビジネス、インバウンド関連などの幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業です。働き方改革（ABW=Activity Based Working）を含めたデジタルトランスフォーメーションの推進により、優れたIP（Intellectual Property）を安定的に創出し、様々な形で世界に届ける「グローバル・メディアミックス」戦略を実践しております。

<https://group.kadokawa.co.jp/>

■台湾角川股份有限公司について

1999年設立。2015年に中文繁体字の電子書籍市場の将来を見据え、日本の電子書籍販売サイト「BOOK☆WALKER」のシステムやノウハウを移植する形で子会社として台湾漫読（BOOKWALKER TAIWAN）を設立。2019年にはWalker事業をスピンアウトしてWalkerMediaを設立しDX化を加速。台湾の旅行グルメ分野でトップレベルのアクセスを誇るサイトに成長させるなど、台湾角川はKADOKAWAグループの海外戦略の中核を担っています。

<https://www.kadokawa.com.tw/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社KADOKAWA 海外事業局

E-mail : ib-support@ml.kadokawa.jp